

第 67 回全国統計大会の結果概要

1 大会の概要

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の関連行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、我が国の統計の進歩・発展のみならず、地域における統計の普及や活用に資することを目的に開催している。

67回目を迎える今大会は、総務省及び公益財団法人統計情報研究開発センターの主催により、平成29年11月13日(月)、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールにおいて、野田聖子総務大臣及び奥野信亮総務副大臣をお迎えし、全国から約600名を超える統計関係者の参加のもと開催された。



2 開会

開会に当たり、まず、主催者として、野田総務大臣が挨拶を行い、その後、公益財団法人統計情報研究開発センターの杉浦正健会長の挨拶、さらに来賓として東京都の熊谷克三統計部長から祝辞を頂戴した。



主催者挨拶をする野田総務大臣



主催者挨拶をする杉浦会長



祝辞を述べる熊谷部長

3 各種表彰

続いて、第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」、統計調査の実施、統計の普及等に功績のあった方々に対する「統計調査功績者」各省大臣表彰、「第65回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰」、「大内賞」、「平成29年度『統計の日』標語入選者表彰」が行われ、それぞれの受賞者に対して、会場からは大きなお祝いの拍手が送られた。

(1) 第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」

客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として昨年度から設けられたものである。

第2回の今回は、「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」をテーマとした静岡県子ども未来課が総務大臣賞を受賞し、奥野総務副大臣から表彰状が授与された。

また、「GISポータル構築による業務改善」をテーマとした東京都豊島区の取組みが統計局長賞を受賞し、千野雅人統計局長から表彰状が授与された。

さらに、茨城県、静岡県（健康増進課）及び佐賀県が特別賞を受賞し、千野統計局長から表彰状が授与された。



総務大臣賞(左)、統計局長賞(右)を授与される受賞者

(2) 「統計調査功績者」各省大臣表彰

各種統計調査に関し、顕著な功績のあった方々に対する各省大臣表彰について、まず、総務大臣表彰代表受賞者に対し奥野総務副大臣から表彰状が授与され、厚生労働大臣表彰、農林水産大臣表彰、経済産業大臣表彰及び国土交通大臣表彰の各受賞者に対し、各省統計主管部長等からそれぞれ表彰状が授与された。



表彰状を授与される受賞者

(3) 第65回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰

次に、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに資することを目的に実施している統計グラフ全国コンクールの入賞者に対する表彰が行われた。

まず、奥野総務副大臣から、大阪府吹田市立千里丘中学校3年の福永嘉恩さんに対する総務大臣賞の授与、文部科学省の神山修生涯学習政策局生涯学習総括官から、兵庫県神戸市立友が丘中学校3年の三宅麗さんに対する文部科学大臣賞の授与が行われた。

続いて、日本統計学会の赤平昌文会長から、大分県立国東高等学校1年の上岡美月さん及び大分県の上岡史子さんに対する日本統計学会会長賞の授与、日本品質管理学会の椿広計会長から、新潟県上越市立春日小学校5年の小川芽生さんに対する日本品質管理学会賞の授与が行われた。

また、杉浦統計情報研究開発センター会長から、特選受賞者の茨城県土浦市立荒川沖小学校2年の川村怜愛さん及び香川県高松市立太田南小学校3年の前田壮一朗さんに対し、表彰状が授与された。



総務大臣賞(左)、文部科学大臣賞(右)を授与される受賞者

(4) 大内賞授与

次に、戦後の統計再建に尽力された大内兵衛博士の業績を記念して設けられた大内賞の授与が行われ、西村清彦大内賞委員会委員長から、榊原和子氏（福島県）、日根裕子氏（和歌山県）、美谷島和子氏（長野県）及び吉原節子氏（福岡県）に対し、表彰状が授与された。



表彰状を授与される受賞者

(5) 平成 29 年度「統計の日」標語入選者

次に、「統計の日」(10 月 18 日)を周知するために募集された「統計の日」標語の特選受賞者に対する表彰が行われ、三宅俊光総務省政策統括官から、滋賀県守山市統計調査員の近松清司氏に対し、表彰状が授与された。



表彰状を授与される受賞者

(6) 受賞者謝辞

各種表彰の後、受賞者を代表して、「統計調査功績者」として総務大臣表彰を受賞した千葉県の金井直美氏から謝辞が述べられた。



謝辞を述べる受賞者代表

4 統計・データサイエンス活用セミナー

表彰式終了後、「統計・データサイエンス活用セミナー～統計で学んで知って 未来で活かそう～」が開催された。

このセミナーは、受賞者による実績や作品を広く紹介することにより、統計の進歩・発展と普及啓発に資することを目的として、渡辺美智子慶應義塾大学大学院教授の司会により、地方公共団体における統計利活用表彰受賞 2 団体及び第 65 回統計グラフ全国コンクール大臣賞受賞者によるプレゼンテーションが行われた。

(1) 地方公共団体における統計利活用

総務大臣賞を受賞した静岡県の「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」について、河森佳奈子静岡県健康福祉部理事による発表が行われ、引き続き、統計局長賞を受賞した東京都豊島区の「GIS ポータル構築による業務改善」について、酒井和広東

京都豊島区都市整備部都市計画課街づくり情報コーナー主任主事による発表が行われた。

(2) 第 65 回統計グラフ全国コンクール

総務大臣賞を受賞した福永嘉恩さん（大阪府中学 3 年生）から、受賞作品「私にできる社会貢献」について発表が行われ、引き続き、文部科学大臣賞を受賞した三宅麗さん（兵庫県中学 3 年生）から、受賞作品「私たちにも出来る！外来生物の被害予防」について発表が行われた。

両作品とも、作品を作るきっかけとなった動機や作成過程における苦労した点など、受賞者の作品に対する熱い気持ちが伝わる発表となり、司会者や指導に当たった教師のコメントも交えて会場は非常に盛り上がり、盛大な拍手が送られた。



地方公共団体における統計利活用表彰受賞者（左）、統計グラフ全国コンクール両大臣賞受賞者（右）による発表

5 第 65 回統計グラフ全国コンクール入選作品の展示

会場である国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール入口では、第 65 回統計グラフ全国コンクールの入選作品を展示し、参加者が熱心に見入るとともに、多くの受賞者が自身の作品の前で記念撮影をしていた。



コンクール入選作品の展示